

令和6年度
鶴岡市こども会議
提案書

令和6年8月8日

こども委員

佐藤 亮汰

伊藤 泰良

國領 あさひ

石塚 結希

新田 紹人

松浦 環生

小西 七青

松浦 碧己

わたしが考える“理想の居場所”

名前 佐藤 亮汰

★“理想の居場所”の名前や特徴

駅前、鶴岡駅・蔵島駅

カフェ	本屋	居酒屋など
両方	両方	大

駅や駅前を活気にさせてほしい

カフェや本屋、居酒屋などを設営してほしい

にカードを全駅つなごうにしてほしい。

★その“居場所”が必要だと思った理由

駅はいろんな人が来る所で 駅におおきく来てたくなる
駅を作してほしい

★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

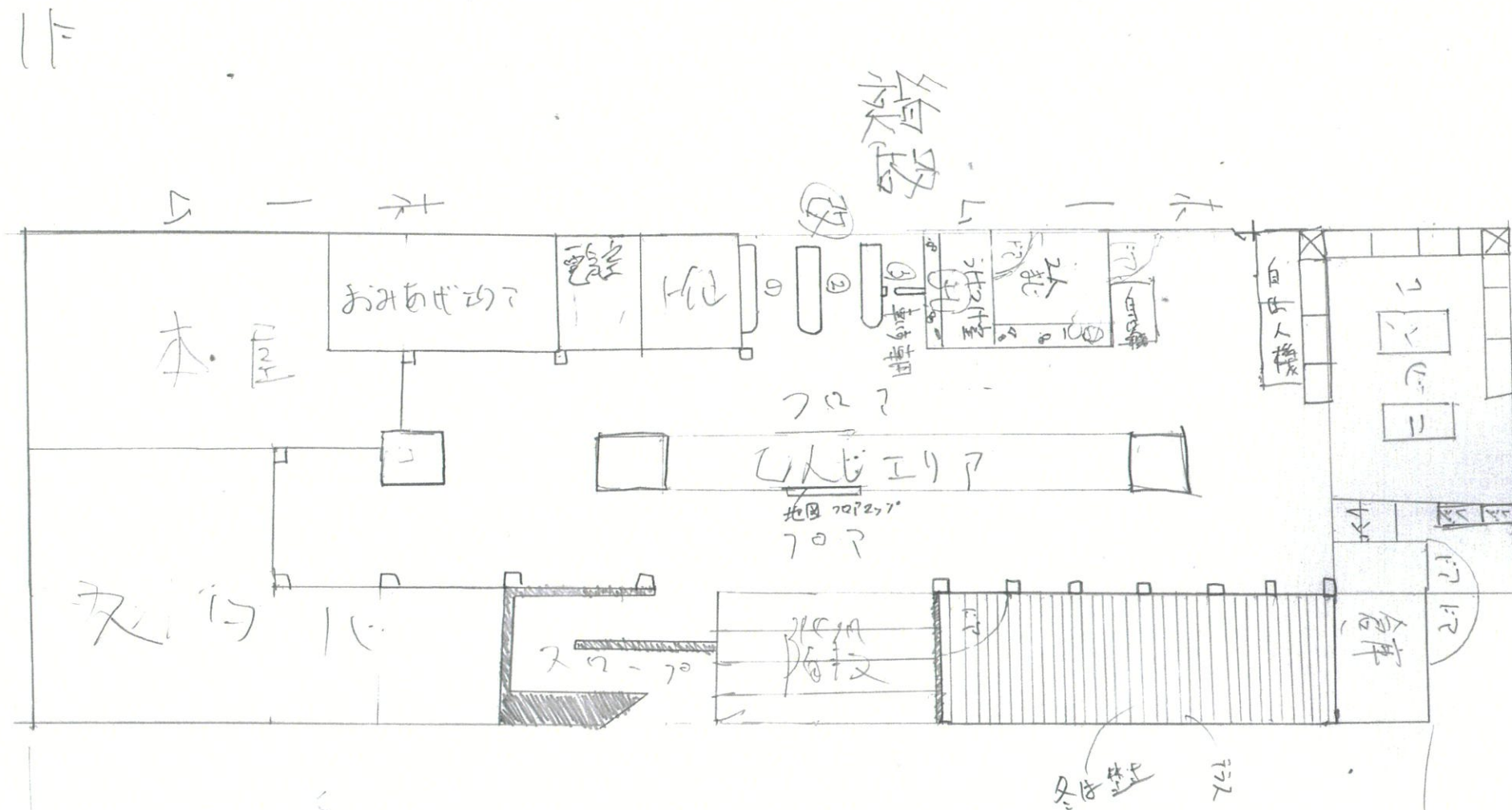
カフェとかにいきなり

わたしが考える“理想の居場所”

至新島↓

至酒田↑

にサイル



名前 佐藤 亮汰

佐藤亮汰さんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

駅前に人を呼び込み、活性化させることは、市としても課題と考えているので、提案を駅前活性化策への反映を検討していきます。

障害の有無に関わらず利用しやすい施設や機能の整備、ユニバーサルデザインやインクルーシブの視点は、駅前以外にも必要な視点であり、市の施策全般に反映していきます。

提案の良い点

駅を街の顔として捉え、こどもだけでなく全世代が利用できるような施設にし、駅がにぎわっていれば駅前も活性化し、地域が元気になっていくと考えた視点が素晴らしいです。

駅の空間をイメージしながら細部までこだわって提案してくれて、たくさんのお店やエリアが楽しめるし、スロープや車いすのための改札など、誰でも使いやすい工夫もあるので、年齢や目的に関係なく、みんなが来たくなるような場所なのがいいです。

こども委員の姿

何があるといいか、どんな場所にするかだけではなく、建物を作る費用をどこから出すかまで考えながら参加してくれました。建物の構造に詳しく、柱の角度や本数についても話をしていた驚きました。

わたしが考える“理想の居場所”

名前 伊藤 泰良

★“理想の居場所”の名前や特徴

名前: 交流子供センター

特徴

- ・子供が交流しながら、いろんな遊びをできる。
- ・子供だけで自由に来ることができる。 近くにバス停がある。
- ・1日中遊んでいても、あきない、楽しい。 → バスで来ることができる。
- ・室内でも、外でも、オンライン空間でも遊べる。

そこにあってほしい施設

- ・公園 (ボールを投げる広い場所と遊具がある場所)
- ・食事スペース
- ・展示室
- ・室内アスレチック場 (タンクセンターにあるような物)
- ・動力が動力あいの場 (2階)
- ・図書室と勉強部屋
- ・体育食室 (バスケットと室内スポーツ 2階)
- ・ゲームスペース (ゲームを持ちこてもいいし、そこにゲーム機を持ってきていいし) → インターネットもある。交流しながらゲームできる場所と、1人1台の部屋でゲームできる場所。
- ・フリースペース (休むたり)

★その“居場所”が必要だと思った理由

- ・子供が少なくなると同じ学校の子と遊ぶとしても、予定があわなかったりして、1人で遊ぶことが多くなり、友達だけでなく、自分と同じ遊びをしたい子供と交流し、複数人で遊ぶことができればいいなと思ったから。
- ・1つのこと (体を動かすこと、ゲームすることなど) だけだとおもしろくないので、体を動かしたり、ゲームしたり、本を読んだり、小さい子が遊べたり、食べ物を食べる場所があったり、自分がやったことない遊びと出会ったり、1日中遊べたりと子供が遊びに対して、楽しく向きあえる場所がほしいと思ったから。

★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

- ・できたらやりたいこと
- ・いろんな人と交流して、いっしょにどんな遊びをしているかを聞き、いろんな遊び方を知りたい。

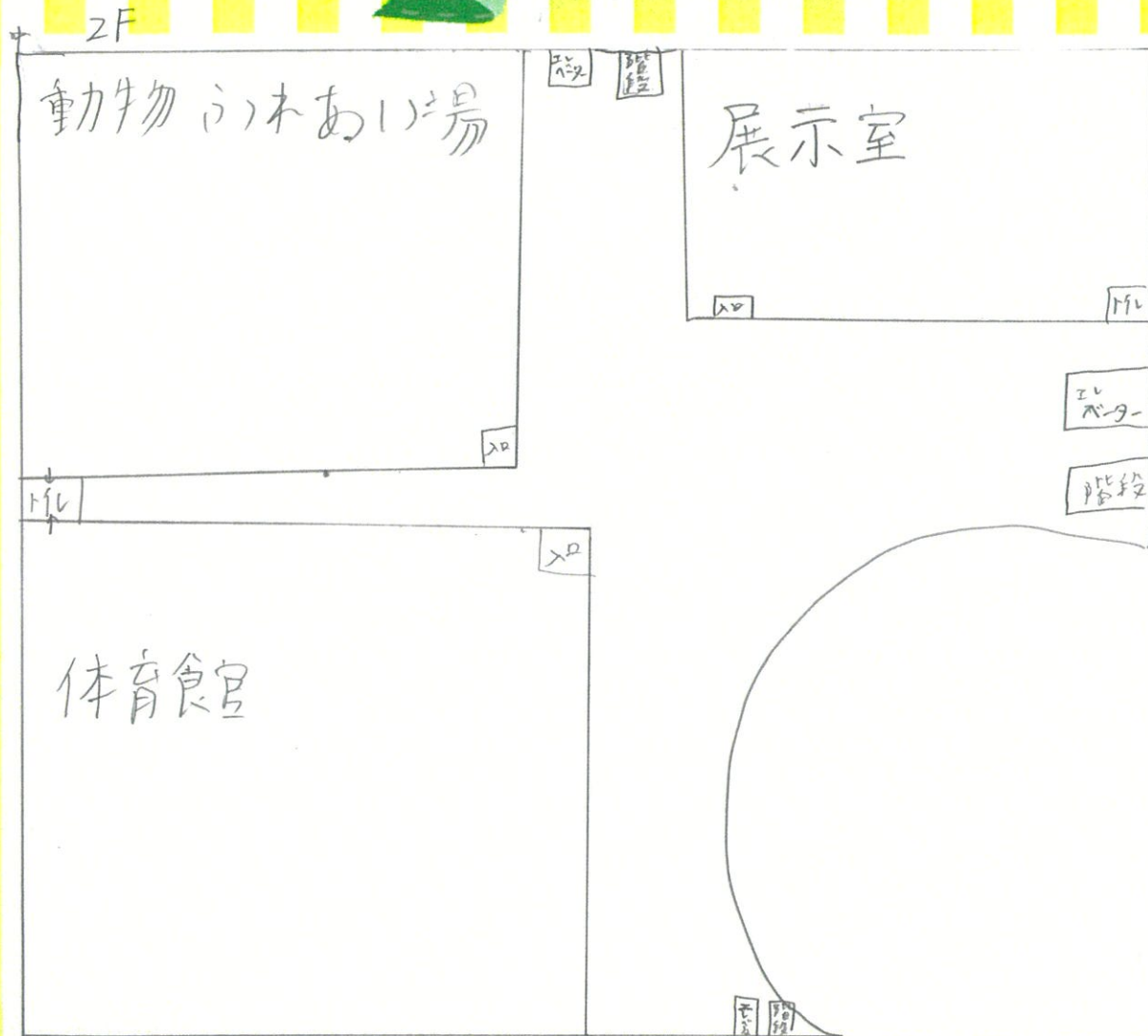
わたしが考える“理想の居場所”



バス

名前 伊藤 泰良

わたしが考える“理想の居場所”



名前 伊藤 泰良

伊藤泰良さんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

市では現在、こどもの遊び場の整備方針を検討しており、屋内・屋外の両方を備えた遊び場や、複合施設の提案はたいへん参考になります。

これから策定する遊び場の整備方針や、第二学区コミュニティセンターの改築に合わせた中央児童館の再整備、新図書館整備構想などに反映していきます。

提案の良い点

「遊び」と「勉強」、「みんなで」と「ひとりで」、「室内」と「屋外」と「オンライン」など、その日に一緒に過ごす友達や気分、体調に合わせていろいろな組み合わせが選べることで、ずっと居られる場所になっているのがいいですね。

オンラインだけでなく、対面でも交流できる場所を考えるなど、いろいろな年代や立場の人が時間と空間を共有したり、共感したりできる場所として考えた視点が素晴らしいです。

こども委員の姿

どの会でも、自分から積極的にメンバーに声を掛けて、話しやすい雰囲気を作ってくれました。

昔に比べこどもが少なくなっていることを背景に、遊ぶ友達が限られていることを解決するため、いろいろな遊びができる居場所を考えるという視点が素晴らしいです。

わたしが考える“理想の居場所”

名前 國領 あまひ

★“理想の居場所”の名前や特徴

- ・ 図書館
- ・ 本だなのある部屋・人と話したりできる部屋・静かにする部屋がわかれている
- ・ 本だなのある部屋…本や資料を選び、借りるよぐする
- ・ 人と話せる部屋…人と交流したり、喜を出してもよい
- ・ 静かにする部屋…声を出したり、喜をたてたりしない
- ・ みわたしのよい場所にある

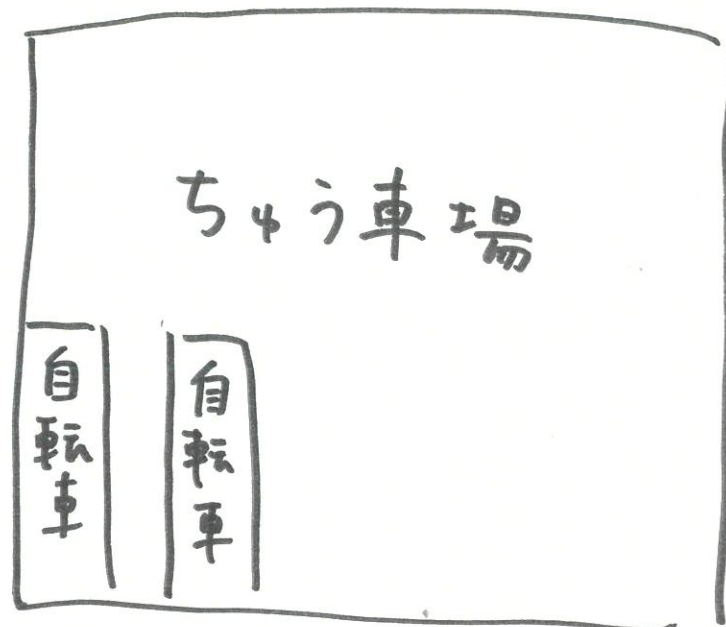
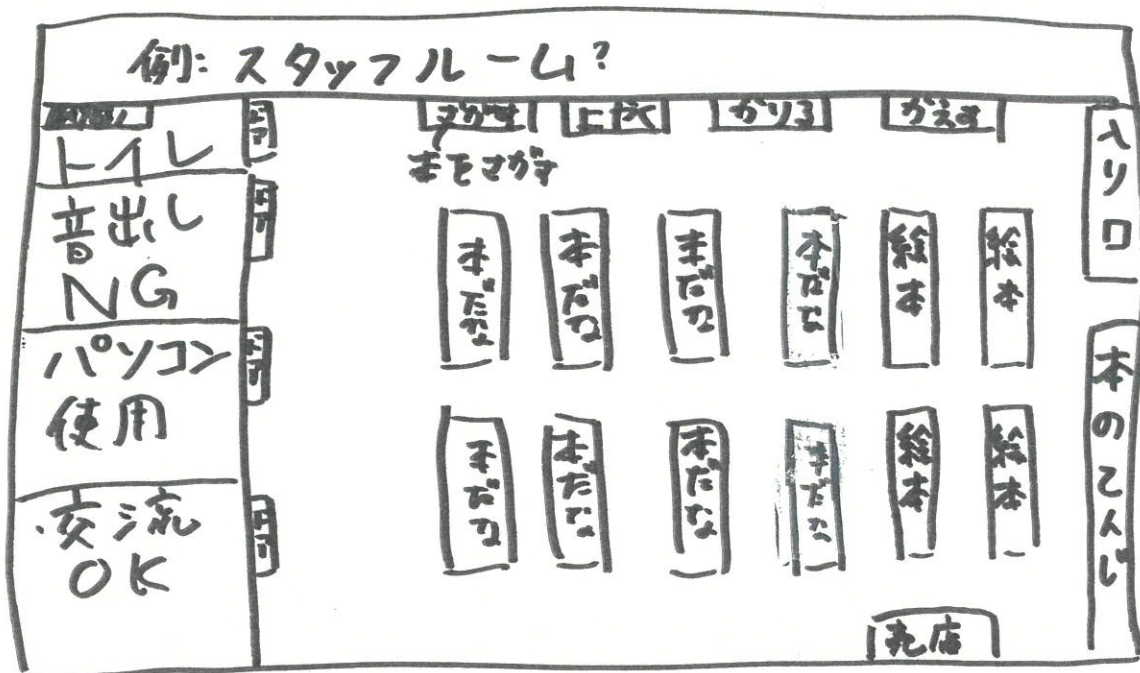
★その“居場所”が必要だと思った理由

- ・ 鶴岡の図書館は、行く途中の道がせまく、図書館が目につくにくい場所にあって、入りにくいから
- ・ 図書館が人と話したりできる場所になれば、本を通して、新しい出会いや夢中になれることが見つかると、市の人たちの生活が充実すると思ったから

★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

- ・ もしこの図書館ができたなら、友達や家族など“知っている人”にこの図書館のみよぐを伝えてみんなにとって“居場所”にできるようにしたい
- ・ 本や資料を借りたり、友達と勉強をした
- ・ 初めて会う人とも交流してみたい

わたしが考える“理想の居場所”



例: 道路

例: スーパー

例: ファミリス

例: 家

名前 國領 あつひ

國領あさひさんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

市では現在、新しい図書館の整備構想を検討しており、目につきやすく誰でも利用しやすい場所への建設や、話ができたり、利用者が交流したりできるスペースの設置などは、新図書館の整備に反映していきます。

提案の良い点

現在の図書館の立地等の課題に着目し、どうしたら市民の生活が充実するか考え、「静かに本を読むところ」ととらえがちな図書館に、「人と話したりできる部屋」をすることで、様々な人と交流できるようにした視点が素晴らしいです。

図書館を利用する人の目的に合わせて、部屋を行ったり来たりできることや、見渡しのいい場所にあることで安全・安心に行けるなど、図書館を「みんなの居場所」にするための工夫がよいです。

こども委員の姿

視察をして感じたアイデアを、すぐに取り入れて提案を再構成した点が素晴らしいと思います。

ここはこういう場所だと決めつけずに、より良くするために工夫をすることは、どんな場面でも大切だと感じます。

わたしが考える“理想の居場所”

名前 石塚 結希

★“理想の居場所”の名前や特徴

本屋がほしい!!

- ・2小学区内にほしい(子どもだけでも行けるくらい)
- ・休けいスペース(カフェ?)があるといい
- ↑いすをつくえ
- ・さっしやまんがもおいてあったら行きやすい
- ・まんが、CD、DVDなどのレンタルができたらいい
- ・ブックオフみたいに、本が売れたりリサイクルできたりすると
べんり

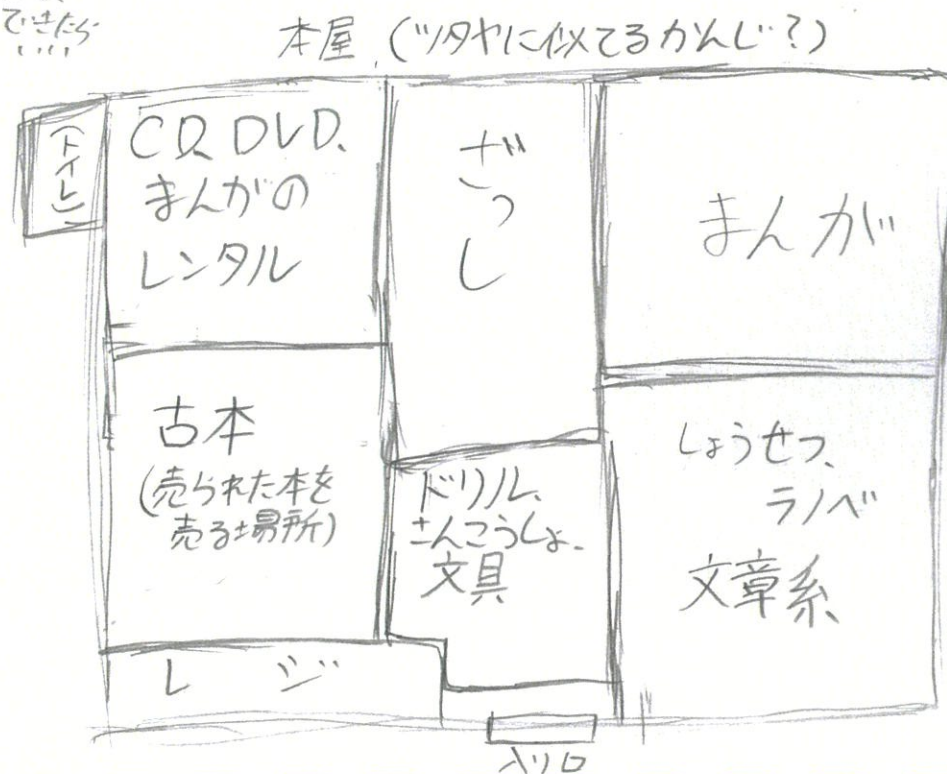
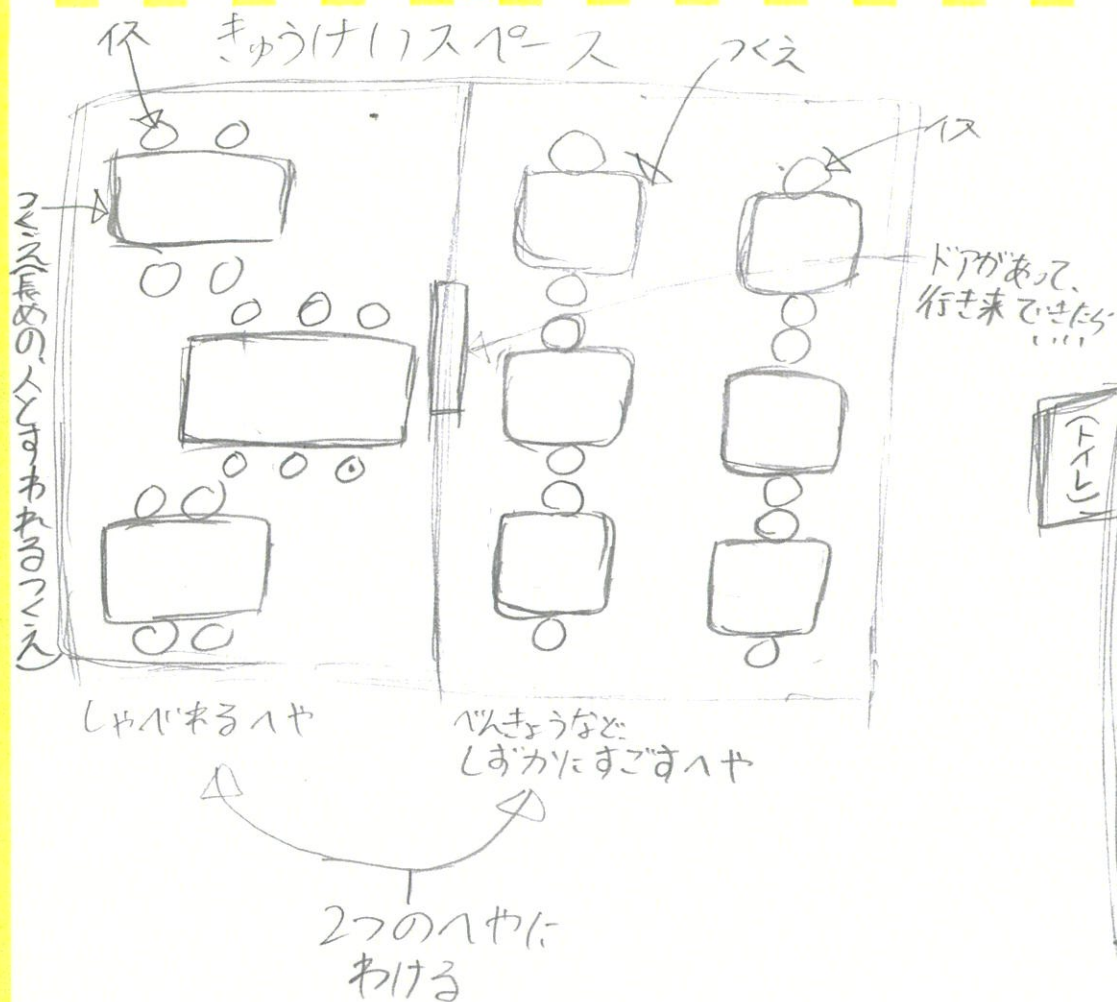
★その“居場所”が必要だと思った理由

- ・2小学区の近くに本屋がない!
- ↳ ツタヤがなくなったから子どもだけで本屋に行けない
(遠いから)
- ・家以外の学習できる場所があるとべんり!
- ↳ 友だちとかとも学習できる

★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

- ・本を買ってもらうために、家族や友だちをさそって行く
- ・“居場所”ができたら、友だちといっしょに宿題をしたり、
たくさん本を買ったりしたい。

わたしが考える“理想の居場所”



名前 石塚 結希

石塚結希さんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

本を売るだけでなく、こどもの学習場所にもなるスペースや、本やCDをリサイクルできるシステムは、新図書館整備の構想や、これから改築する第二学区コミュニティセンターの機能などに反映していきます。

移動図書館や図書館分館の充実など、本屋や図書館以外でも、本に親しめる環境づくりを進めていきます。

提案の良い点

こどもだけで行ける範囲に本屋がないという、こども視点での課題に着目し、今までの本屋の機能に加えて、本のリサイクルやCD等のレンタル、カフェなどの休憩スペースをすることで、幅広い人が利用できる場所にしようという視点が素晴らしいです。

友達と話したり勉強したりできるスペースがあることで、こども同士が交流しやすそうだし、本にあまり興味のない友達とも一緒に利用できるように工夫したところがいいですね。

こども委員の姿

メンバーの話を最後までよく聞いてくれる姿が素敵でした。

身近な場所に本屋がないという不便さを解消するための方法や、友達と一緒に楽しく過ごすためにはどうしたらいいか、一生懸命に考えてくれました。

わたしが考える“理想の居場所”

名前 新田 紹人

★“理想の居場所”の名前や特徴

スーパースライ中高生まで遊べる
米斗金 高校生まで無料 大人五百円
民間のスライ 共同運営または補助
にする
バスで子供だけで行ける
外の遊具を確保する
貸出できるスペースがある

★その“居場所”が必要だと思った理由

- 今高1から卒くしてほしい ^{中高生も楽しめるように}
- 行きやすくするため ^{移動のため} (移動車もあのかな?)
- 屋外が女子主女子もいるから (道具も持ち出せる)
- ワークショップや展示を開きい(てほしいから)

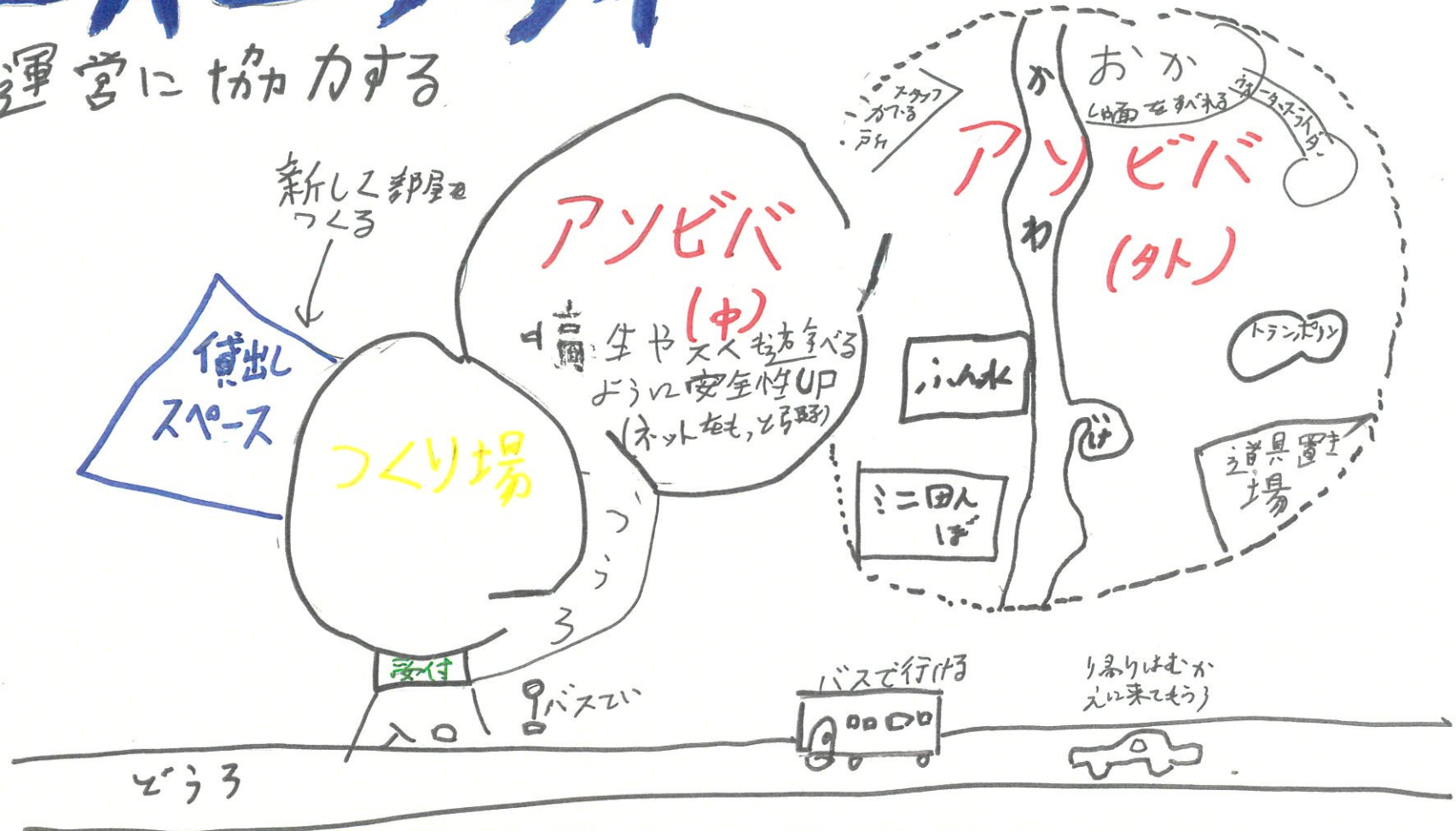
★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

市に とい案する
外で道具を使いた遊べがしたい!
いしこを運搬して、感想を聞きたい!

わたしが考える“理想の居場所”

スーパーソライ

市が運営に協力する



名前 新田 紹人

新田紹人さんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

中学生や高校生も遊べる場所や屋外の遊び場の整備、キッズドームソライの利用料軽減などの提案は、市の遊び場整備方針に反映していきます。

提案にある、外のアソビバのイメージは、市が整備を考えているプレーパークに近いところがあるので、中央児童館の屋外や公園の整備を検討する際に反映していきます。

提案の良い点

キッズドームソライの利用料金が高いことや、こどもだけで行けないことなど、利用しにくさに気づき、今ある施設を生かしながら、展示・貸出しのスペースや、屋外の魅力的な遊び場を作ること、多くの人が利用できる、より良い居場所にしようとした視点が素晴らしいです。

鶴岡の遊び場に、視察で見てきた他施設の良い点が合わさった、楽しそうな居場所なのがいいですね。

こども委員の姿

メンバーの意見を聞いて、「こんな考え方もあるよ」と新しいアイデアを提案してくれたことで、メンバーのみんなも新しいアイデアが浮かんでいました。

視察をして「いいな」と思ったところを柔軟に取り入れて提案を考えてくれました。

わたしが考える“理想の居場所”

名前 松浦 環生

★“理想の居場所”の名前や特徴

- 野球イ場
- ・もっと野球人口を多くしてみんなで野球をやろうと思えるようにするため
 - ・この野球イ場を甲子園と同じ土にする
理由・・・イレギュラーバウンドや小石があるとあぶないの
で甲子園の土がいいと思います。
 - ・ベンチのいすもプロの球場と同じのゲーミングチェアに
してほしい
理由・・・プロと同じような野球カドでできていると思えるし、
ベンチに帰ってきた日時にかいてきたから

★その“居場所”が必要だと思った理由

- この野球イ場に道具もそろえてほしい（糸東習用の）
- 理由・・・まだ全部の道具がそろっていない人でも野球をし
にこれる
- 用意してほしい物・・・ボール・グローブ・バット・ヒッティングマシン
・ヘルメット・ネット・キャッチャー防具・かこ

★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

- 月に1回糸東習会をひらく 理由まだ習っていない
の糸東習ができる
- 室内糸東習イ場を作る 冬や雨がふった日時に糸東習
ができるようにする・試合前にヒッチャーとキャッチャーが
し糸東習できる

わたしが考える“理想の居場所”

霞光けいばん

スタンド せんぶいすにのる

しば

甲子園の土

しんはんしつ

コンビニ

名前 松浦環生

松浦環生さんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

施設の手入れや草刈りをしっかりすることなども含めて、公園や市体育施設の維持管理などに反映していきます。

野球未経験者のための体験会や道具の貸し出しなどによる野球人口の拡大の提案は、同じようなことが他のスポーツにも当てはまるので、スポーツ人口拡大のための方法の検討に反映していきます。

提案の良い点

大好きな野球をするために欠かせない理想の野球場について、多くの人が憧れる甲子園グラウンドの土や、プロ球場のイスを取り入れたり、沢山のの人に気軽に野球を体験してもらえる設備を整えることで、みんなで楽しめる居場所になるとした視点が素晴らしいです。

いつも利用している居場所の「もっとこうだったらいいな」を形にした提案がいいです。みんなにとっての安全や使いやすさをもっとよくすることでたくさんの人から使ってもらえることも大事ですね。

こども委員の姿

きょうだいで参加でしたが、二人で循環バスに乗って会場にきてくれ、とても自立しているなと感心しました。弟さんのことも気にかけて声を掛けながら参加してくれました。

野球が大好きで、もっとたくさんの人から野球に興味をもってもらえるよう、たくさんアイディアを出してくれました。

わたしが考える“理想の居場所”

名前 小西 七青

★“理想の居場所”の名前や特徴

Crane

鶴みたいなたくましく 鶴岡を愛して
鶴みたいなきれいな人も

- ・はい校や使われなくなった建物につくられている。・無料
- ・市役所や広い公園などの公共の場所のそばにある。・日当たりがいい。
- ・部屋が2つあって、つくえとイス、スタンドライトがあるスタディスペースと
広いホールと遊具、明るいスペースがある、フリーホールがある。遊び道具の貸出し
- ・トイレはとてもキレイ。・冷房、暖房がある。明るいスペースは読書やゲームok
- ・スタディスペースは、つくえが2種類あって、1人勉強用とグループ勉強用がある。・ホールに地域から集めた本の本棚がある。・まどが大きい。
- ・フリーホールには、自由に水がめれるスペースがある。・バスケットゴール
- ・遊具はいろんな種類があって小学生から高校生まで楽しい。サッカーゴールがある。

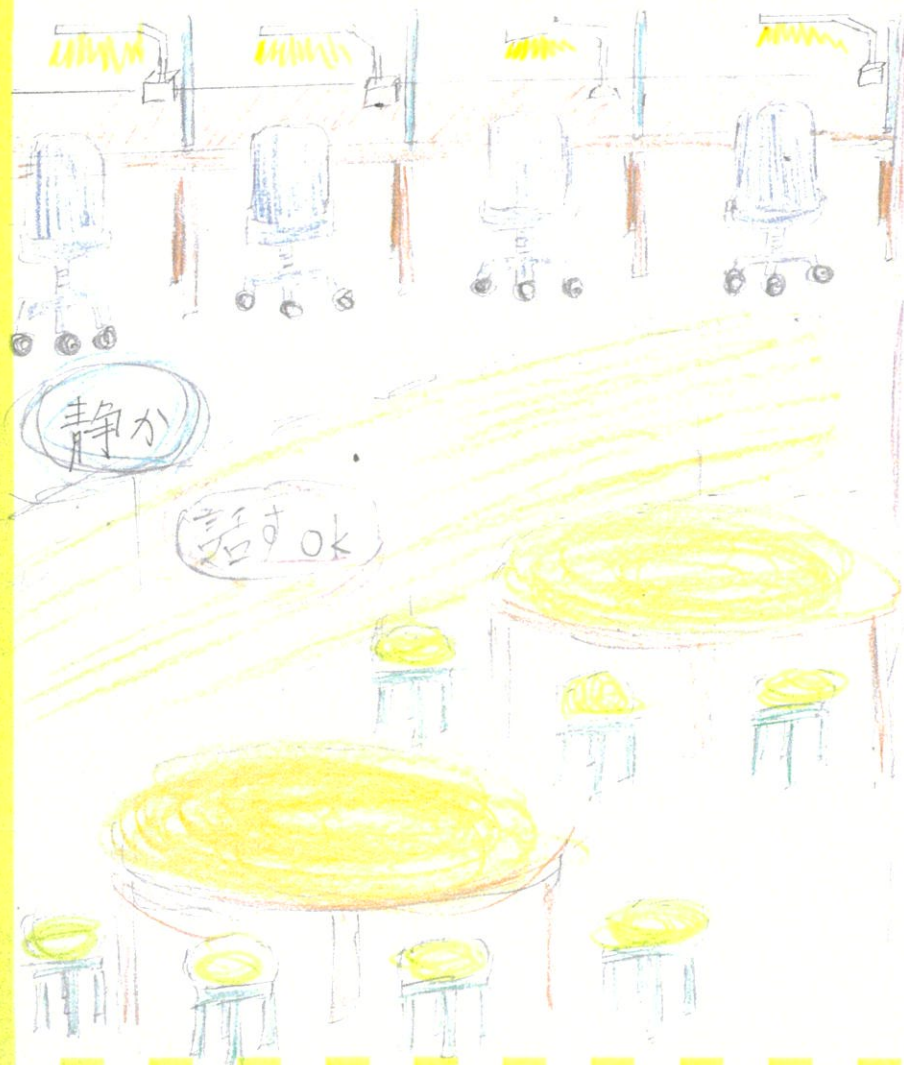
★その“居場所”が必要だと思った理由

- ・雨の日に6年生でも遊べる室内施設が近くにないと感じたから。
- ・休みの日に友達と集まって勉強できる場所がないから。
- ・1つの場所で勉強も運動もできる場所がほしいから。
- ・年れいかんけいなく遊でいたいから。

★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

- ・活気ある場所にするために友達をこそう。
- ・市の建物にもっと興味をもつ。
- ・いろんな人の意見を聞く。
- ・勉強
- ・友達と遊ぶこと
- ・ドッジボール
- ・グループ学習

わたしが考える“理想の居場所”



名前 小西 七青

小西七青さんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

既存施設や未利用施設の活用は、限られた市の財政を有効に使うという意味でも大事な視点で、これからの公共施設整備の考え方に反映していきます。

こどもの学習場所にもなる場所や遊んだり交流したりできる複合的施設の提案については、新図書館整備構想や、第二学区コミュニティセンターの改築に合わせた機能の検討に反映していきます。

提案の良い点

雨の日に遊ぶ場所や休みの日に友達と勉強する場所がないという課題に着目し、新しく建物を建てるのではなく、廃校や使わなくなった建物を活用し、小学生だけではなく年齢関係なく交流できる施設にしようという視点が素晴らしいです。

鶴岡市の「鶴」を取り入れて、鶴のようにたくましく、愛して、きれいな心にと考えたところがいいです。この居場所に集まるこども達がそうなったらいいなと思える素敵な名前ですね。

こども委員の姿

常に自分のことだけではなく、もっと多くの人が楽しく過ごせるにはどうしたら良いかを考えながら参加してくれていました。

わたしが考える“理想の居場所”

名前 松浦 瑠己

★“理想の居場所”の名前や特徴

超スーパーケースデンス

こくちゅう

ランニングマシンがい

たくさんあってみんな
できる。

★その“居場所”が必要だと思った理由

みんなが無料で楽しくラン
ニングマシンがい

できるから 近くにあるから

★その“居場所”をつくるために自分ができること・その“居場所”ができたらしたいこと

できたらいいこと

みんなであそびに行っていて楽しく
休養したい

わたしが考える“理想の居場所”



超スーパーゲームセンターを語る

- ・無料で体験してから自分にぴったりの物が買える
- ・みんなといっしょに楽しくできる
- ・自分好みの色やスピードの商品が買える
- ・動画をみたりしてただつかれるだけでなく
楽しみながらできる
- ・だれかときろえる(たとえば100mをリボルトときろえたりできる)
- ・なにかの世界に入れる(たとえばマリオの世界に入れる)

名前

松浦 碧己

せっちする場所

ランニングマシンはおく

①ランニングマシンに行くまえに良い商品を見つけてそれを買ってくれるかも!!

スマホ・タブレットは前

①今のケースデングだとスマホ・タブレットが見つけずらいから

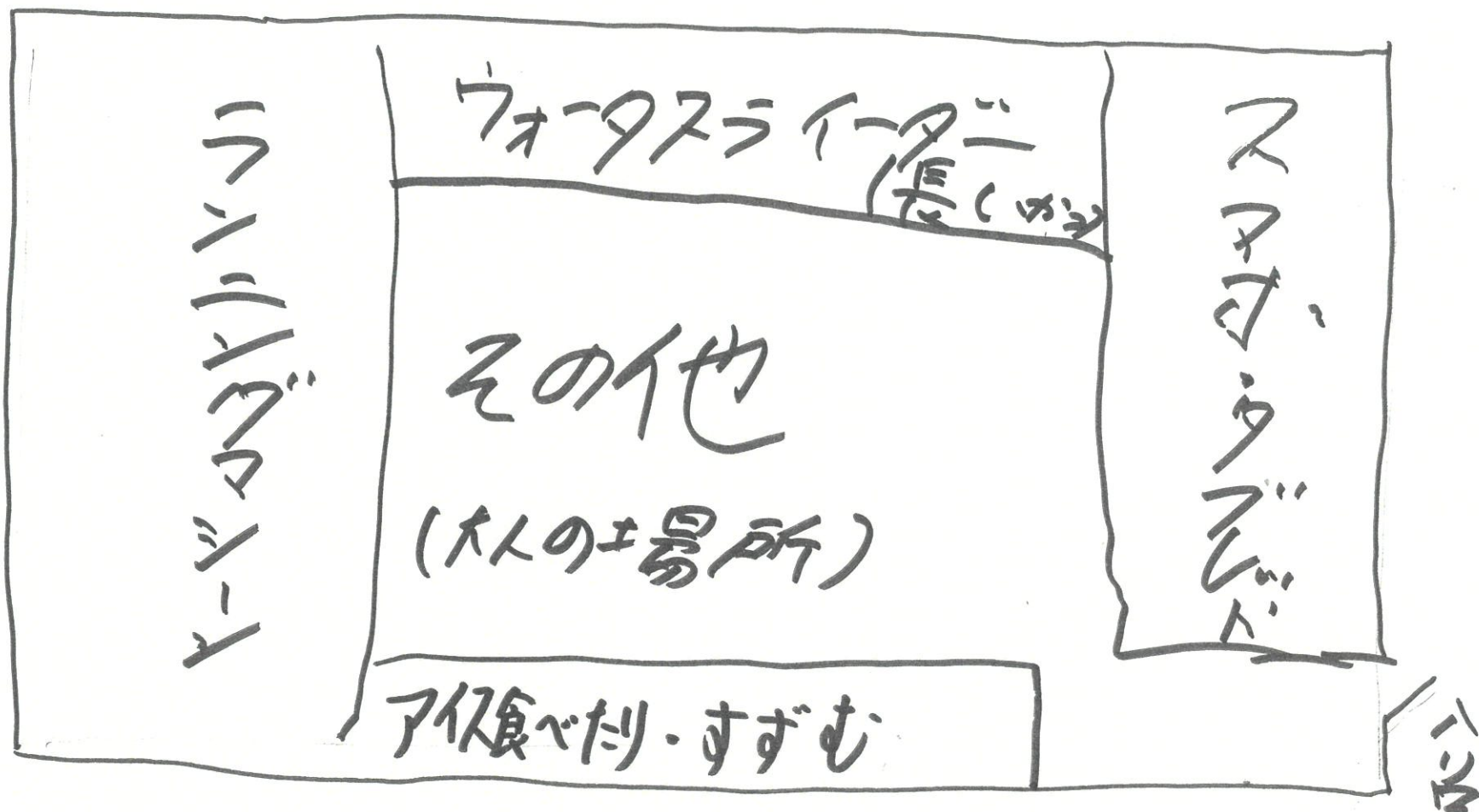
その他 真ん中

①スマホ・タブレットを見たあとに電気せいの品を見て自分の家に必要な物を見る

ウォーター 슬라이ダーのランニングマシンのとなり

①ランニングマシンのあとにすぐあそべる

わたしが考える“理想の居場所”



名前 松浦 碧己

松浦碧己さんの提案の政策への反映と評価

政策への反映の方向性

小学生は公共施設のトレーニングルームが使えないため、小学生でも楽しく利用できるような体育施設のあり方を検討していきます。

家電量販店などの商業施設もこどもの居場所となれるよう、お店の協力をいただきながら考えていきます。

提案の良い点

大人では想像もつかなかった、身近なお店が、多くの人が集まり、楽しめる居場所になるとしたことが素晴らしいです。

遊びや運動、買い物を同じ場所で出来る居場所は、家族や友達みんなで楽しめそうだし、無料で体験した後に自分にぴったりのものが買えるという、利用者だけでなくお店にもメリットがあるという視点がいいです。

こども委員の姿

いつも元気いっぱい、視察で見たり体験したりしたことを取り入れて提案を修正するなど、体験したことをすぐに生かす所が素晴らしいと思います。

新しい居場所を作るだけでなく、今ある場所をもっとよくしたいという考えがいいですね。